

ウ キ ク サ

Spirodela polyrbiza



| | | | | | |
|------------------|---|----|--------------|-----|----------|
| 種名 | <p style="text-align: center;"><u>ウ キ ク サ</u></p> <p style="text-align: center;"><u>Spirodela polyrbiza</u></p>  | | | | |
| 分類 | 被子植物単子葉植物綱ウキクサ科 | 俗称 | カガミグサ、ウラベニグサ | 生活型 | 多年草、浮漂植物 |
| 分布 | 日本全土に広く分布するほか、南アメリカと極地を除く全世界に広く分布する。 | | | | |
| 形態 | <p>葉状体(茎が変形したもの)とよばれる葉のような形態で水面に浮いている。</p> <p>葉状体:葉状態は左右相称または不相称の広倒卵形で、長さ3~10 mm、幅3~8 mm、表面は淡黄緑色または緑色で、拳状に5~11本の葉脈が走る。裏面と縁は紫色を帯びる。ふつう3~5個が細い柄で連なり、群体をつくっている。葉状体の内部は海綿状組織が発達している。</p> <p>根:葉状体の裏面の基部に近い中心部から白色糸状、長さ2~5 cmの根を4~10数本水中に垂れる。根は主に体のバランスをとる錘の役目を果たしている。</p> <p>花:花期は7~8月。葉状体の基部に二枚貝がわずかに開いたような目立たない仏炎苞ができ、その内部から雄しべ2、雌しべ1をもつ1個の白い花をつける。花をつけることは稀。</p> <p>果実:果実(胞果)にはわずかに翼があり、中に1~2個の種子ができる。</p> | | | | |
| 類似種 | <p>アオウキクサの葉状体は卵形でウキクサよりかなり小型であり、表裏とも緑色で、根は1本しか出ない。</p> <p>ヒナウキクサの葉状体は長楕円形で、先の方は鎌状に曲がる。ウキクサより小型で根は1本しか出ない。</p> <p>ミジンコウキクサの葉状体は長さ1 mm前後と微小で、根は出ない。種子植物のなかでは最も小さい。</p> | | | | |
| 生息場所 | 河川の岸などの停滞水域のほか、各地の水田、池沼、水路などに普通に群生する。ウキクサ群落の上級単位であるコウキクサクラスの代表的標微種である。 | | | | |
| 繁殖 | 種子または殖芽で越冬・繁殖する。殖芽は晩秋に葉状体の基部に作られ、水底で越冬する。翌春水面に浮上し、娘葉状体を分芽して増殖する。 | | | | |
| 他生物との関係 | ウキクサミズゾウムシの食草となる。 | | | | |
| 配慮のポイント | 水田の場合は害草となるが、河川、湖沼では特に配慮すべきことはない。 | | | | |
| トピック | 漢方では全草を利尿、強壯、丹毒、発汗剤その他に利用する。生物実験の教材として利用される。 | | | | |
| その他 | | | | | |
| 引用文献:『川の生物図鑑』を改変 | | | | | |